

**製品名: C-TAK1 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09488**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	85kDa

**抗原情報**

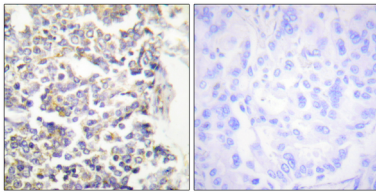
遺伝子名	MARK3
別名	MARK3; CTAK1; EMK2; MAP/microtubule affinity-regulating kinase 3; C-TAK1; cTAK1; Cdc25C-associated protein kinase 1; ELKL motif kinase 2; EMK-2; Protein kinase STK10; Ser/Thr protein kinase PAR-1; Par-1a; Serine/threonine-protein kinase p78
遺伝子 ID	4140.0
SwissProt ID	P27448
免疫原	抗血清はヒト MARK3 由来の合成ペプチドに対して作製された。AA 範囲: 1-50

**背景**

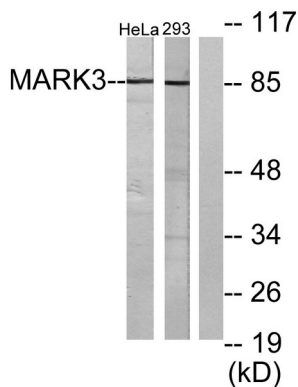
微小管親和性制御キナーゼ 3 (MARK3) ホモサピエンス この遺伝子によってコードされるタンパク質はリン酸化によって活性化され、タウタンパク質 MAP2 および MAP4 のリン酸化に関与する。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2011 年 10 月]、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: タウ、MAP2、および MAP4 の微小管関連タンパク質の特異的リン酸化に関与する。CDC25C の 'Ser-216' をリン酸化。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。CAMK Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MARK サブファミリー。類似性: KA1 (キナーゼ関連) ドメインを 1 つ含む。類似性: タンパク質キナーゼドメインを 1 つ含む。類似性: UBA ドメインを 1 つ含む。組織特異性: 普遍的。

## 研究分野

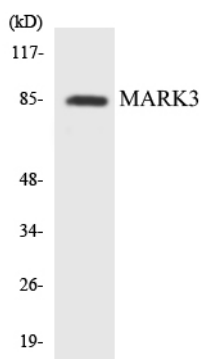
## 画像データ



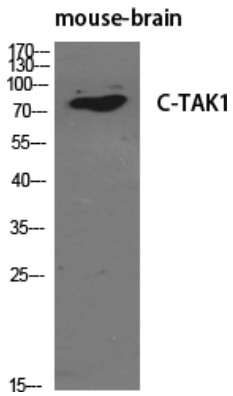
MARK3 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



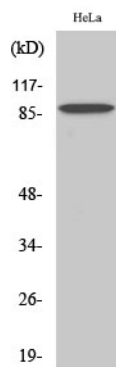
MARK3 抗体を用いた HeLa 細胞および 293 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



MARK3 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



C-TAK1 ポリクローナル抗体を 1: 500 に希釈して様々な細胞をウェスタンブロット分析した。



1: 500 に希釈した C-TAK1 ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析